

バリー・リンドン (1975)

BARRY LYNDON

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇

製作国 イギリス/アメリカ

色彩 Color

時間 186分

初公開日 1976/07/03

公開情報 WB

【キャッチコピー】

《風雲児》バリーの華麗なる愛と冒険の大ロマン！

【解説】

キューブリックほど文学の映像化に長けた作家もいなかろう。すべて原作に基きながら、それを読んで得られるイメージを遥かに凌駕したものを、彼の映画は突きつける。本作などその最たるもの。サッカーのピカレスク・ロマンが原作だが、その写実主義を的確に具現化しながら、より19世紀的な（それも抑制された）ロマンチズムを醸し、更に20世紀の意識の流れる表現にまで昇華させる、演出、撮影、編集の三位一体に陶然とさせられる（加えて、古典曲の頭腦的な使用も特筆に価する）。ナイヴだが人好きのするアイルランド青年が、英国貴族として生きようと決意、迅速な日和見主義で成り上がる話だが、でくの坊役者オニールの没個性を逆手に取り、主人公のうすぼんやりした気性を巧妙に表現したのにも感心させられる。そして語り尽くされた名手J・オルコットのローソク光のみの室内撮影はやはり凄い。“頭は醒めているのに肉体は疼く”といった官能を、こうまで描けた映画はあるまい。

【クレジット】

監督	スタンリー・キューブリック	Stanley Kubrick	
製作	スタンリー・キューブリック	Stanley Kubrick	
製作総指揮	ヤン・ハーラン	Jan Harlan	
共同製作	バーナード・ウィリアムズ	Bernard Williams	
原作	ウィリアム・メイクピース・サッカー	William Makepeace Thackeray	
脚本	スタンリー・キューブリック	Stanley Kubrick	
撮影	ジョン・オルコット	John Alcott	
プロダクションデザイン	ケン・アダム	Ken Adam	
美術	ロイ・ウォーカー	Roy Walker	
衣装デザイン	ミレーナ・カノネロ ウルラ=ブリット・ショダールンド	Milena Canonero Ulla-Britt Soderlund	
編集	トニー・ローソン	Tony Lawson	
音楽	レナード・ローゼンマン	Leonard Rosenman	
出演	ライアン・オニール	Ryan O'Neal	バリー・リンドン
	マリサ・ベレンソン	Marisa Berenson	レディー・リンドン
	パトリック・マギー	Patrick Magee	シェバリエ

スティーヴン・バーコフ
マーレイ・メルヴィン
ハーディ・クリューガー
レナード・ロシター
アンドレ・モレル

Steven Berkoff
Murray Melvin
Hardy Kruger
Leonard Rossiter
Andre Morell